

日本標準商品分類番号
872619

## 外皮用殺菌消毒剤

日本薬局方 アクリノール水和物

# アクリノール「ホエイ」

**Acrinol**

承認番号	16000AMZ03803
薬価収載	1950年9月
販売開始	1954年7月
再評価結果	1983年4月

貯 法：遮光、密閉容器、室温保存  
使用期限：5年  
(容器に表示の使用期限内  
に使用すること)  
注 意：「取扱い上の注意」の項参照

### 【組成・性状】

#### 組成

販 売 名	アクリノール「ホエイ」
日 局 別 名	アクリノール、乳酸エタクリジン
成分・含量 (1g中)	日局 アクリノール水和物 1g

#### 製剤の性状

本剤は黄色の結晶性の粉末である。

### 【効能・効果】

#### 1. 化膿局所の消毒

泌尿器・産婦人科術中術後  
化膿性疾患(癰、よう、扁桃炎、副鼻腔炎、中耳炎)

#### 2. 口腔領域における化膿局所の消毒

### 【用法・用量】

#### 化膿局所の消毒

0.05～0.2%の液として使用する。

#### 含 嗽

0.05～0.1%の液で含嗽する。

### 【使用上の注意】

#### 1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類	頻度	頻度不明
皮 膚 <sup>(注)</sup>		疼痛、発赤、腫脹、潰瘍、壊死等
過 敏 症 <sup>(注)</sup>		過敏症状

注)このような場合には投与を中止し適切な処置を行うこと。<sup>1)~4)</sup>

#### 2. 適用上の注意

投与経路：

外用にのみ使用し、内服しないこと。

### 【薬効薬理】

#### 殺菌作用

各種化膿菌、特にれんさ球菌、ウェルシュ菌、ぶどう球菌、淋菌に対し、静菌及び殺菌作用がある。作用機序は、生体でアクリジニウムイオンとなり細胞の呼吸酵素を阻害するといわれている。生体組織にほとんど刺激を与えず、血清たん白質の存在下でも殺菌力は低下しない。

### 【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：〔日局〕アクリノール水和物 (Acrinol Hydrate)

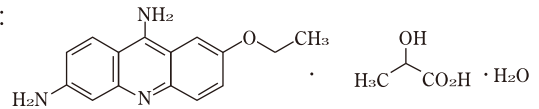
〔日局別名〕アクリノール、乳酸エタクリジン

化学名：2-Ethoxy-6, 9-diaminoacridine monolactate monohydrate

分子式：C<sub>15</sub>H<sub>15</sub>N<sub>3</sub>O · C<sub>3</sub>H<sub>6</sub>O<sub>3</sub> · H<sub>2</sub>O

分子量：361.39

構造式：



性 状：本品は黄色の結晶性の粉末である。

本品は水、エタノール(99.5)にやや溶けにくい。

本品1gを水100mLに溶かした液のpHは5.5～7.0である。

融 点：約245°C(分解)

### 【取扱い上の注意】

1. 配合変化：塩素イオンの共存により、塩酸塩を析出することがある。
2. そ の 他：皮膚・衣類に付着すると、その黄色を洗い落すことが困難であるので注意すること。

### 【包 装】

25g

### 【主要文献】

- 1) 荒金兆典 他：日本皮膚科学会第50回東日本学術大会、昭和61年10月 97、856(1987)
- 2) 片岡葉子 他：皮膚 29(増3)、242(1987)
- 3) 田淵香代子 他：皮膚 27(増3)、448(1985)
- 4) 金蔵拓郎 他：皮膚 26(3)、626(1984)

### ※※【文献請求先】

ファイザー株式会社 製品情報センター  
〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7  
学術情報ダイヤル 0120-664-467  
FAX 03-3379-3053

※製造販売元

マイラン製薬株式会社  
大阪市中央区本町2丁目6番8号

※※販売

ファイザー株式会社  
東京都渋谷区代々木3-22-7

